

— 第3章 都市環境 —

第1節 都市公園等の整備

1 概要

都市公園等の整備は、都市の緑化を推進し、緑地を確保していく上で、その中核を構成するものです。本市の公園整備は、戦後の土地区画整理事業から始まりました。以降、順次公園の整備が進んだことにより、現在、市内の公園数は297か所となっています。

このうち、特に身近な公園としての街区公園（旧種別名：児童公園）は、土地区画整理事業地区以外では、十分に整備されていない状況にあり、市民一人当たりの公園面積は不足しています。

この不足を補うため、河川敷地を利用した広場を確保するとともに、民間の空き地などの遊休地を借地して「ちびっこ広場」を開設するなど、子どもたちの安全な遊び場づくりに努めています。

現在、進めている主な公園整備は、市街地南東部の太田第二土地区画整理事業区域内に、都市計画決定している25か所の公園であり、うち24か所は既に供用開始されています。

また、市街地中心部では、高松港頭地区総合整備事業の一つとして、玉藻公園西側の拡張整備を進めています。

市域東部の丘陵地では、市民の健康増進のため、スポーツ活動やトレーニング、レクリエーションなどに気軽に利用できる施設を配置した東部運動公園の整備を進めており、一部の施設については、平成20年7月および22年10月に供用開始しています。また、市域東端の牟礼町原地区では、道の駅「源平の里むれ」に隣接した房前公園を19年度に供用開始しています。

今後とも、市民に潤いと安らぎを与える都市施設となるよう、市民参加による親しまれる公園づくりを推進することにより、都市の生活環境の向上を図ることとしています。

2 都市公園等設置状況

種 別	現 況		公 園 名 称
	公 園 数	面積 (ha)	
街 区 公 園	234	32.29	松島公園・明見公園・上之町北公園ほか
近 隣 公 園	14	23.93	紫雲公園・今里中央公園・円座公園（県）ほか
地 区 公 園	3	17.70	中央公園・橘ノ丘総合運動公園・如意輪寺公園
総 合 公 園	2	24.28	仏生山公園・峰山公園
運 動 公 園	2	42.60	香川県総合運動公園（県）・東部運動公園
歴 史 公 園	2	83.31	玉藻公園・栗林公園（県）
墓 園	2	16.06	平和公園・六ツ目墓園
広 域 公 園	1	40.52	さぬき空港公園（県）
緑 地 緑 道	37	39.67	杣場川緑道・屋島緑地・香東川緑地（県）ほか
計	297	320.36	

（平成24年4月1日現在）

※ 市民一人当たり都市公園面積 7.65㎡

都市計画区域内人口一人当たり公園面積 7.27㎡



中央公園

3 公園の維持管理

公園は、市民の憩いの場であるとともに児童の健全な遊び場や情操教育の場となっており、その安全性を確保するための巡回と、施設の修繕・点検を行うとともに、樹木の保護のため害虫駆除・剪定等の維持管理に努めています。

また、公園愛護会（子ども会・老人会・自治会等）による定期清掃・除草等を行っており、市民の協力を頂きながら、レクリエーションやコミュニケーションの場として、美しく、安心して利用できる公園になるよう努めています。

公園愛護会団体数 143団体（平成24年4月1日）

4 ちびっこ広場

遊び場に恵まれない地域の児童や幼児のために、民間の空き地など遊休地を所有者の善意により開放していただき、子どもたちが安全かつ健全に遊べる「ちびっこ広場」として整備しています。

ちびっこ広場設置状況 67か所 56,862.97㎡（平成24年4月1日現在）

5 ポケットパーク

緑豊かな都市景観をつくるため、街路事業等の残地を利用して、個性のあるポケットパークとして整備しています。

ポケットパーク整備状況 15か所 3,622.88㎡（平成24年4月1日現在）



花園町ポケットパーク

第2節 緑化の推進

1 緑化事業

(1) 第2次緑の基本計画の策定

高松市緑の基本計画は、平成6年の都市緑地保全法の改正により創設された都市の緑全般に関する計画で、従来の緑のマスタープランが主として対象としていた都市計画に関する事項と、都市緑化推進基本計画が対象としていた公共公益施設の緑化、民有地の緑化推進等に関する事項を統合し、拡充した計画であり、13年度に高松市緑の基本計画を策定したが、その後、合併による市域の拡大や新しい都市計画マスタープランの策定など、本市の緑を取り巻く環境が大きく変化したことから、高松市緑の基本計画の見直しを行い、22年9月に第2次高松市緑の基本計画を策定しました。

(2) 都市緑化推進

緑豊かな都市環境を形成していくためには、公園の整備はもとより、公共施設や民有地の緑化、緑地の保全を図る必要があります。本市においては、緑地の現況等を把握するとともに、緑化の目標や方策などを明らかにし、総合的な緑化を推進するため、平成22年9月に、第2次高松市緑の基本計画を策定し、温暖化対策としての公園・校庭の芝生化のほか、公園施設長寿命化計画の策定などを新たな施策とするほか、地域の特性を活かした個性豊かで魅力ある緑の地域づくりを推進するため、新たに緑の地域別計画を盛り込むこととし、市民、事業者、ボランティア・NPO、行政が相互に連携・協力し、緑豊かで環境負荷の少ないまちづくりを推進しています。

(3) 街路緑化

都市の緑化を推進するため、市道に植栽された街路樹の剪定・駆除・灌水などの計画的な維持管理を行うとともに、枯損木等の撤去および補植を行い、環境と調和のとれた地域づくりに努めています。

路 線 名	樹木本数等	主 な 樹 種
五番町西宝線ほか72路線	高 木 6,984本	アメリカフウ, クスノキ, ケヤキ クロガネモチ, ナンキンハゼ等
	低 木 29,576㎡	アベリア, サンゴジュ, ボックスウッド ハマヒサカキ, ヒラドツツジ等

(平成24年4月1日現在)



市道五番町西宝線の街路樹（ケヤキ・アベリア）

(4) 民有地緑化

市と市民が一体となって緑の保全、回復に努め、健康で快適な生活環境を確保するため、昭和57年10月から高松市緑化条例（昭和50年条例第24号）を施行し、公共施設の緑化を進めるとともに、財団法人高松市花と緑の協会事業として62年度から生垣設置助成を、平成元年度から事業所などの環境保全緑化助成を、20年7月から中心市街地活性化基本計画区域において、屋上緑化・壁面緑化に対する助成を行うなど、民有地の緑化を推進しています。

生垣等助成実施状況

年度 区分	H19	H20	H21	H22	H23
件数 (件)	6	8	8	6	4
金額 (円)	459,800	712,200	1,661,000	548,200	498,150

2 花いっぱい運動

良好な都市環境を保つ上で、花や緑は大切な役割を果たしています。

本市では、快適な生活環境、カラフルなまちづくりを推進するため、公園内の花壇づくりのほか、高松駅前広場や商店街の街角等に花壇を設け、四季折々の草花を植え付けて、うるおいとやすらぎのある生活環境の創出に努めています。

また、財団法人高松市花と緑の協会とともに、春のフラワーフェスティバルや街頭での啓発活動、さらには、人生記念植樹などの各種のイベント時に草花の配布等を行い、花いっぱい運動を推進しています。



春のフラワーフェスティバル

3 公園の芝生化

平成21年6月21日に、「中央公園芝生化大作戦」と銘打って、中央公園芝生広場の復元を目指すため、地元自治会を始め、商店街、企業、小学校、保育所、幼稚園などから900人を超える方々が、ボランティアとして参加し、植え付け作業を行いました。

その後、大きなイベントも開催されましたが、ボランティアの方々の維持管理の甲斐があって、青々とした芝生が広がっています。



植付風景 (H21. 6. 21)



芝生化 1 年経過後



現在の状況 (H23. 5)

4 校庭の芝生化

高松市教育委員会では、みどり豊かな教育環境を整備し、子どもたちの緑化意識を育み、環境学習の場となる、環境に配慮した学校施設を目指すとともに、次代を担う子どもたちの運動・体力不足を解消し、たくましく心豊かな子どもたちの育成を図るため、平成 21 年度から、校庭芝生化に取り組んでいます。

H21 年度 牟礼北小学校



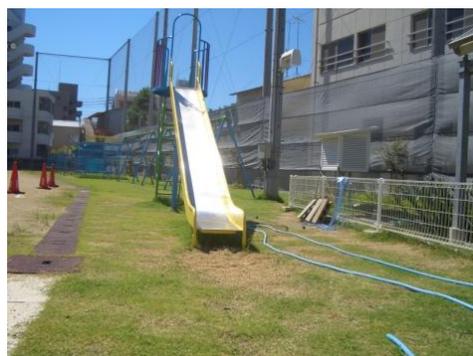
H22 年度 屋島西小学校



H23 年度 屋島東小学校



H23 年度 新番丁小学校（校庭の一部）



第3節 交通環境の整備

1 総合都市交通計画推進事業

平成 22 年 11 月に策定した新たな高松市総合都市交通計画に基づき、「人と環境にやさしく快適で利用しやすい公共交通体系の構築」に努めてまいります。

(1) 環境配慮型都市交通計画（CO₂削減計画）の策定

本市における少子高齢社会の到来や地球環境問題への対応を図り、過度に自動車に依存しない交通体系の検討や公共交通の利用促進、歩いて暮らせる環境にやさしいまちづくりに必要な交通体系を構築し、地域における地球温暖化防止対策の推進を図ることを目的として、平成 20 年度に高松市環境配慮型都市交通計画推進協議会を設立し、低炭素社会の実現に資する都市交通計画（CO₂削減計画）を 22 年 1 月に取りまとめました。

(2) 交通戦略計画の策定

高齢者を始めとする交通弱者の利便性向上や環境負荷の軽減、中心市街地の活性化を図るため、平成 20 年度に高松市総合都市交通戦略検討協議会を設置し、人々が快適に移動できる、LRT を始めとする新交通システム導入の可能性等について検討を重ねました。その結果、目指すべき交通体系の実現に向け、時間軸を念頭に入れた段階的な事業推進の方向性を示す交通戦略計画を、22 年 7 月に取りまとめました。

(3) 新たな総合都市交通計画の策定

平成 14 年策定の高松市総合都市交通計画については、社会情勢の変化や市町合併に即応した計画とすることが必要となっていました。このため、新総合計画や都市計画マスタープランに即し、高齢者を始めとする交通弱者の利便性の向上や、環境負荷の軽減、中心市街地の活性化が図られるよう、

既に取りまとめられた高松市環境配慮型都市交通計画、高松市交通戦略計画ならびに高松地区における自転車を利用した都市づくり計画を踏まえながら、22年11月に、新たな高松市総合都市交通計画を策定しました。

(4) 総合都市交通計画推進協議会

新たな高松市総合都市交通計画に掲げる24の施策の効果的な推進を図るため、平成22年11月30日に、同計画の推進協議会を設置しました。また、協議会の下に3つの部会（交通機能部会、交通結節部会、市民啓発部会）を設け、各部会において、専門的な検討を行いながら、施策の推進に取り組めます。

(5) 公共交通利用促進条例（仮称）の制定

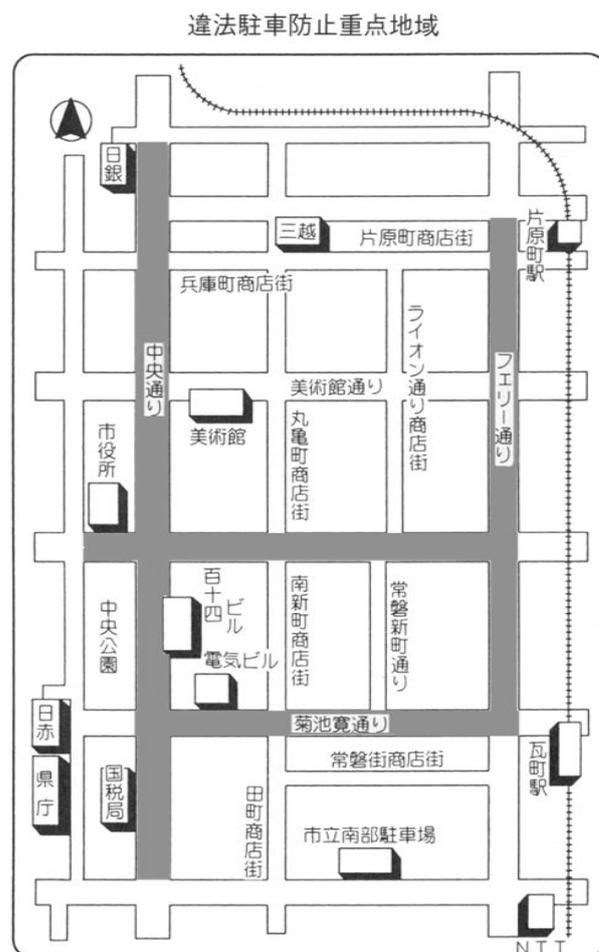
誰もが安心して安全に移動できる公共交通体系を構築するとともに、過度な自動車利用への依存からの脱却および公共交通機関利用への転換を促進し、環境負荷の少ない社会を実現するため、市、市民、事業者および交通事業者それぞれの役割や、公共交通に関する基本的施策等を規定する公共交通利用促進条例（仮称）の制定を目指します。

2 違法駐車等の対策

(1) 違法駐車防止対策事業

平成4年12月違法駐車による事故や渋滞の発生を防止し、安全で快適な生活環境の確保と都市機能の維持向上を目指した高松市違法駐車防止に関する条例（平成4年条例第39号）を制定しました。

条例に基づき、国道11号、市道フェリー通り、菊池寛通り、中央通り、市役所前通りの5路線を違法駐車防止重点地域に指定し、違法駐車防止啓発活動を実施していましたが、18年6月から道路交通法の改正により、違法駐車取締りが変わり、放置駐車車両の確認および標章の取付け確認事務が公安委員会の登録を受けた法人に委託できることとなり、これを受けて県警では民間委託業務が開始され、これまでに駐車台数が減少し、渋滞が緩和されるなど一定の効果が出ていることから、19年4月から交通指導員による街頭啓発活動を取り止めました。



重点路線瞬間路上駐車状況（午前11時調査）

（単位：台，％）

年度	路線名	フェリー通り	国道11号	菊池寛通り	中央通り	市役所前通り	計
	実施前台数	54.5	33.0	22.5	50.0	13.0	173.0
H23	台数	10.7	4.1	6.3	5.4	4.3	30.8
	減少率	80.4	87.6	72.0	89.2	66.9	82.2

(2) 貨物車専用荷さばき駐車場の設置

平成8年度に「高松市における物流効率化に関する調査研究委員会」が、モデル実験として設置した集配貨物車専用荷さばき駐車場を、民間主導で継続運用するとともに、9年12月から市有地に集配貨物車専用荷さばき駐車場を設置し、集配貨物車両の違法駐車減少に努めております。

今後も集配貨物車の違法駐車対策として、指導、啓発を積極的に行い、市民の安全で快適な生活環境を確保するとともに、都市機能の維持向上を目指し、新たな駐車場の確保に努めます。

集配貨物車専用路外荷さばき駐車場利用状況（単位：台）

H23		
設置場所	設置台数	駐車台数
中本町駐車場	普通車用1	371
丸亀町駐車場	普通車用1	203

利用時間：8:30～ 17:30 利用条件：2トンまでの集配貨物車 料金：無料

3 駐車場

(1) 概要

本市は、四国の経済・行政の中枢を担っており、中心市街地には自動車交通が集中することから、瓦町地区やサンポート高松で民間駐車場との役割分担を図りながら公共駐車場を整備しており、利用時間や料金体系の見直しを行うなど、利用者の利便性の向上に努めています。

また、駐車場法に基づく路外駐車場の設置届を審査するなど、安全な駐車施設が建設されるよう指導を行っています。

(2) 市立駐車場整備状況

現在、高松市の管理する一般公共用駐車場は8か所あります。

最近では、サンポート高松の駐車需要に対応するため、公共駐車場として高松駅前広場地下に収容台数395台、高松シンボルタワーの地下に221台（市：141台、県：80台収容）および、県営の多目的広場地下駐車場（302台収容）の整備を行っています。

市立駐車場の整備状況

箇所数	台数
8か所	乗用車 2,042台，バス 38台

（平成24年3月31日現在）

4 自転車等の対策

(1) 自転車利用都市づくり計画策定事業

温暖少雨の気象条件や平坦な地形が多いという本市の地域特性をいかし、自転車利用の環境づくりを推進するため、平成19年度に、国・県・警察・市などの関係団体で構成する「自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会・高松地区委員会」を設立し、20年11月に「高松地区における自転車を利用した都市づくり計画」を策定しました。この計画に基づき、市民、関係機関との連携・協働の下、更なる自転車利用環境の整備に努めていきます。

(2) 自転車等駐車対策総合計画

放置自転車対策を一層推進するため、自転車利用実態調査の成果を活用するとともに、自転車利用に関する意識調査、現況分析など自転車等利用基本調査を平成9年度に実施し、10年度では自転車等駐車対策協議会を設置し、手軽な交通手段として自転車などの適正な利用を促進する自転車等駐車対策総合計画を11年3月に策定しました。行政と鉄道事業者や商店街などの民間事業所が、それぞれ責任と役割を分担し、11年度から23年度までに、自転車等の駐車需要の著しい地域や駐車需要が著しくなることが予想される市街地中心部および鉄道駅周辺に、同計画で定めた整備目標量の自転車等駐車を計画的に整備するとともに、自転車利用のマナーの向上など、快適な自転車等利用の環境づくりを行ってきました。計画期間の終了する23年度に、市街地再開発事業、道路事業の進展や、合併など、自転車等の利用を取り巻く環境変化や市民ニーズ、現計画の評価等を踏まえ、自転車利用環境の向上に資する新たな自転車等駐車対策総合計画の策定作業を行い、24年4月に24年度から33年度を目標年次とした新たな総合計画を策定し、環境負荷の少ない自転車を利用したまちづくりの推進に努めていきます。

(3) 放置自転車保管後の再利用等

保管切れの放置自転車のうち、再利用が可能なものについては、限りある資源の有効活用を図るとともに、市民の利便に資することを目的として、平成4年9月に「高松市放置自転車リサイクル要綱」を定め、市内の外国人留学生等を受け入れている団体等にリサイクル自転車として貸与するほか、公用車として利用しています。

また、13年8月に高松市帰属自転車売却要綱を定め、移送・保管している放置自転車のうち、引き取り手のない自転車を一般販売することにより、資源の再生利用の推進および市民のリサイクル意識の高揚に努めています。

(4) レンタサイクル

自転車を共有することで自転車の総数を抑制し、放置自転車を減らし、自転車駐車場の有効活用を図るとともに近距離の公共交通機関の一つとして市民の利用に供するため、平成13年3月に高松市レンタサイクル条例を制定し、同年5月から琴電瓦町駅とJR高松駅の2か所にレンタサイクルポートを設け、レンタサイクル150台でレンタサイクル事業を開始しました。

23年4月からは新しいサービスとして、



自転車1台ずつにICタグを取り付け、すべてのサイクルポートで利用カード（磁気カードやICカード）を機械が読み込める、一元化された管理システムを採用することで、24時間以内ならどのポートで何回出し入れしても追加料金はかからず、スムーズに入出庫が出来るようになりました。

現在、市内7か所にレンタサイクルポートを設け、約1,250台のレンタサイクルで運営しています。

レンタサイクル利用状況 (単位：台)

年度	H20	H21	H22	H23
利用台数				
7ポート合計	312,088	307,113	298,069	332,510

(5) 自転車駐車場

本市では、日常の交通手段として自転車の利用が定着しています。しかし、これら自転車の無秩序な放置は、都市景観および交通安全の観点からは大きな課題となっており、駅前を中心に自転車駐車場の整備に努めています。

箇所数	面積 (㎡)	収容台数 (台)
68か所	17,509	10,833

(平成24年3月31日現在)

(6) 放置禁止・整理区域

放置自転車対策として、昭和57年3月に高松市自転車等の適正な利用に関する条例（昭和57年条例第27号）を制定、同年10月より施行、その後、平成元年3月に一部改正を行い、放置禁止区域・整理区域を設定し、放置禁止区域内においては、2時間以上、整理区域内においては、2日以上放置している場合は、移送・保管するなど、放置自転車等の規制措置を行う一方、隣接の事業所に対して、自転車等駐車場の増設を要望し、協力を得るなど、規制と受け皿の両面から放置自転車等の排除に努めてきました。

また、この間、5年12月には、自転車法（平成5年法律第97条）が改正されるなど、全国的に放置自転車等に対する法的整備が行われました。

本市では、商業地域、近隣商業地域で自転車等の大量の駐車需要を生じさせる施設を新築、増築しようとする場合に、条例で自転車等駐車場の設置を義務付けていましたが、昨今、これら特定施設付近での路上放置が顕著で、道路空間の障害と街の景観が著しく損なわれていることから、放置を防止し良好な都市環境を創出するため、条例に基づく自転車等駐車場の設置基準を改正し、9年4月1日から施行しました。

放置自転車整理状況

年度	H19	H20	H21	H22	H23
警告札貼付枚数 (枚)	72,725	75,719	68,440	66,385	67,814
撤去台数 (台)	9,269	8,884	8,035	7,729	7,685
返還台数 (台)	4,808	5,017	4,424	4,346	4,240

放置禁止区域 ・ 琴電瓦町駅地区・JR高松駅地区・中央通り・美術館通り・サンポート高松地区
 ・ 琴電栗林公園駅地区・JR端岡駅地区・JR栗林駅地区・琴電片原町駅地区

(7) 自転車走行レーンの整備

平成20年11月に、「自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会 高松地区委員会」において策定した、「高松市中心部における自転車ネットワーク整備方針」に基づき、関係機関が相互に連携し、自転車道などを整備することにより、自転車を本市の重要な都市交通手段として有効に活用し、歩行者と自転車の安全で快適な空間の確保や、人と環境にやさしい交通まちづくりを目指しています。

21年度は、菊池寛通りと塩屋町錦町線において、路側帯のカラー化を行い、22年度・23年度において五番町西宝線の自転車道の約1.0km区間の整備を行った。

(8) 歩行者優先道路整備事業の推進

歩行者が安心して歩ける、安全で快適な道路空間の確保のため、現状の道路幅員の中で、歩行者と自転車が安全で安心して通行できる歩道の整備を推進します。

第4節 環境に配慮した公共工事への取組

1 公共工事における環境配慮への取組の実施

市が行う公共工事の執行に当たり、計画・設計・施工の各段階において、環境に配慮した取組を行い、環境保全を図り、環境に調和した施設の整備に努めました。

環境に配慮した工事実績

年度	H19	H20	H21	H22	H23
件数					
環境に配慮した工事件数	344	354	275	367	324

2 公共工事における雨水浸透施設の設置

公共施設整備の際は、敷地内に雨水を浸透させる構造に努めています。

年度	H19	H20	H21	H22	H23
件数					
設置数	0	8	6	5	2

3 サンポート高松

サンポート高松整備事業は、21世紀において、本市が引き続き、環瀬戸内交流圏の中核都市として主要な役割を担い、発展していくための都市づくりや、海陸交通ターミナル機能の強化など、高次の都市機能を持った魅力あふれるまちづくりを香川県と一体となって取り組んだ事業です。

この事業は、下記のとおり駅前広場や港湾緑地内の施設での太陽光の利用を始め、再生水利用や地域熱供給など、環境に配慮したものとなっています。

(1) 緑地

バス背後に「ハーバープロムナード」、外海沿いに「シーフロントプロムナード」を整備しています。また、玉藻公園北側に「キャッスルプロムナード」が計画されており、今後とも緑に配慮したまちづくりを推進します。

(2) 再生水利用

地区内では、下水道再生水の供給を受け、高松シンボルタワーや国の合同庁舎など、主要な施設で水洗便所、樹木への散水、防火用水等に活用しています。

(3) 地域熱供給

主要街区の建物を対象に、海水と大気との温度差による未利用エネルギーを活用した温水・冷水を供給する地域冷暖房システムを導入し、エネルギーの効率的利用や環境の保全に寄与しています。

(4) 太陽光の利用

本市は日照時間が長いことから、駅前広場や港湾緑地内の施設でソーラシステムによる発電を導入しています。



4 歩道の透水性舗装

歩道舗装を透水性舗装で整備し、雨水を地中に浸透させることにより、雨水の流出抑制や地下水の涵養、街路樹の育成など水循環健全化計画を念頭に、計画的な整備事業を推進しています。

平成23年度までの整備実績 10,428m

5 河川改修工事

自然石による護岸、透水性のある水路底等自然環境に配慮した整備に努めています。

施工実績

	河川名	町名	施工年度	工事概要
1	宮谷排水路	菅沢町	H8～16	透水性の水路底
2	半行寺排水路	菅沢町	H8～14	透水性の水路底
3	奥々排水路	木太町	H10～13	透水性の水路底
4	西唐谷排水路	三谷町	H12～13	透水性の水路底
5	弓弦羽川排水路	亀水町	H13～14	透水性の水路底
6	鹿角町排水路	鹿角町	H14～15	透水性の水路底
7	口銭場川	高松町・新田町	H14～15	透水性の水路底
8	香東川支流	檀紙町	H20	透水性の水路底
9	宮北川	牟礼町	H23	自然石護岸

第5節 美しい景観の形成

1 美しいまちづくり推進事業（旧：都市景観整備事業）

(1) 美しいまちづくり基本計画の策定

平成21年12月に制定した「高松市美しいまちづくり条例」に基づき、この条例の基本理念に掲げる「良好な景観の保全・形成・創出」・「環境美化の推進」・「市・市民・事業者の協働」の実現に向け、美しいまちづくりに関する施策の総合かつ計画的な推進を図るため、本市の景観形成の指針となる「高松市美しいまちづくり基本計画」を23年3月に策定しました。

目標像 『 だれもが暮らしたい、訪れたいと感じる 美しいまち 高松 』

(2) 美しいまちづくり賞（旧：都市景観賞）

美しいまちづくりに著しく寄与している建築物等の所有者等または美しいまちづくりに特に顕著な功績のあった個人等を表彰しています。（美しいまちづくり条例の制定に伴い、名称を変更するとともに、活動に対する表彰制度を加えました。）



「高松丸亀町貳番街・参番街」



「ゆめ 花 未来ロード～春日川と仲良く～」

(3) 景観計画の策定

美しいまちづくり基本計画に定める目標像「誰もが暮らしたい、訪れたいと感じる 美しいまち 高松」の実現に向け、建築物の新築等の行為に対し、形態、色彩、デザインに関する行為の制限など、景観法に基づく「高松市景観計画」を平成24年1月に策定しました。

(4) 大規模建築物等

市内全域で一定規模以上の建築物の新築等の行為に対し、景観計画に定める形成基準への適合を促進するため、事前の届出を義務づけ、協議を行っています。

(5) 屋外広告物の規制・誘導

屋外広告物に関し必要な措置を講ずることにより、良好な景観形成や風致の維持に努めています。

2 道路景観整備

(1) コミュニティ広場

道路空間の環境保全に努め、町のオアシスとして美観上・風致上のモデル地区として北部コミュニティ広場、兵庫町ひろばおよび田町コミュニティ広場の整備を行い、地域の人々や歩行者が気軽に散歩や買い物を楽しんだり、何気なく立ち止まって会話を交わしたり、市民の憩いの場として利用されるようにしています。

(2) 「たかまつマイロード」事業

「たかまつマイロード」は、道路愛護団体が自発的意思のもと市が管理する道路の一定区間の清掃・緑化等の維持管理を行うものです。市はこれを支援することにより、道路の環境美化だけでなく道路への愛護意識の高揚を図り、道路利用者のマナー向上を啓発することを目的としています。平成13年度のモデル実施に引き続き、制度のPR等に積極的に取り組み、23年度末現在で113団体と契約を締結し、道路の環境美化推進に努めています。

3 環境美化推進事業

(1) 環境美化条例

空き缶やたばこの吸殻等のポイ捨ての禁止や容器包装の再資源化等を主な内容とした環境美化条例を平成9年3月27日に制定しました（施行は9年10月1日）。

また、18年3月には「歩きたばこ禁止区域」を指定するなど、空き缶やたばこの吸殻のポイ捨てのない美しいまちづくりに取り組んできました（施行は6月1日）。

さらに、21年12月には一部改正を行い、全市域の公共の場所における喫煙の制限および印刷物等の回収の規定を設けるとともに、これまでの「歩きたばこ禁止区域」を「喫煙禁止区域」に名称変更し、その区域を拡大しました（施行は22年4月1日）。

空き缶やたばこの吸殻等のポイ捨てを防止するためには、市民のモラルの向上が不可欠であることから、環境美化に対する意識の高揚や環境美化活動の促進を図り、ポイ捨てのない美しいまちづくりの推進に努めています。

ア 環境美化の日、環境美化月間

環境美化条例の施行日にちなみ、10月1日を「環境美化の日」、10月を「環境美化月間」と定め、この期間を中心に積極的な啓発活動等を実施しています。

イ 環境美化シンボルキャラクター

平成10年度に環境美化啓発活動に効果的に活用するため、環境美化シンボルキャラクターを作成するとともに、愛称は、一般公募により「アウトくん」と命名し、市民にポイ捨て禁止を呼び掛けている。



環境美化シンボルキャラクター「アウトくん」

ウ その他啓発事業(平成23年度)

- (ア) 啓発看板の作製・配布 (ポイ捨て禁止・犬のフンの後始末看板の作製・配布)
- (イ) 広報紙等による啓発 (広報たかまつ, 衛生だより, 新聞等による広報)

(2) 環境美化都市推進会議

昭和54年9月に環境美化についての全市民共同の実践目標となる「環境美化都市宣言」を行い、同年11月に市内の関係団体・市議会・行政の代表者で組織する「高松市環境美化都市推進会議」が発足しました。

この推進会議を母体に、市民一人一人の郷土愛と自治と連帯に根ざす清潔で美しいまち「環境美化都市高松」を実現するため、サンポート高松・中央通り一斉清掃等の清掃活動や環境美化啓発活動を推進しています。

ア サンポート高松・中央通り一斉清掃事業

サンポート高松, 中央通りおよび菊池寛通りの一部(琴電瓦町駅前から中央通りまでの間)沿道の事業所従業員, ボランティアおよび市職員による一斉清掃を早朝始業前に行っています。(原則として毎月第一木曜日に実施)

イ 環境美化推進運動功労者表彰事業

1年以上継続して, 公共の場所で清掃奉仕や緑化推進などに顕著な環境美化活動を実践している個人, 団体を表彰しています。

平成23年度被表彰者 個人25人, 団体36団体

ウ 清掃用具貸出事業

事業者や各種団体による公共の場所等の清掃活動に対し, 清掃用具の貸出しを行っています。

平成23年度実績 25件

エ 第4回「高松クリーンデー “たかまつきれいでー”」の実施

環境美化月間(10月)の啓発行事として, 清掃活動の重点日(平成23年10月23日)を設定し, 高松市衛生組合連合会との共催により, 市内全域における美化活動を実施しました。

平成23年度参加者 約50,000人

オ 喫煙禁止区域周知啓発事業

環境美化条例の一部改正により, 平成22年4月1日から「歩きたばこ禁止区域」が「喫煙禁止区域」に変更され, 区域が拡大されたことに伴い, 拡大区域の主要な交差点等200か所に表示シート

を貼り付けています。

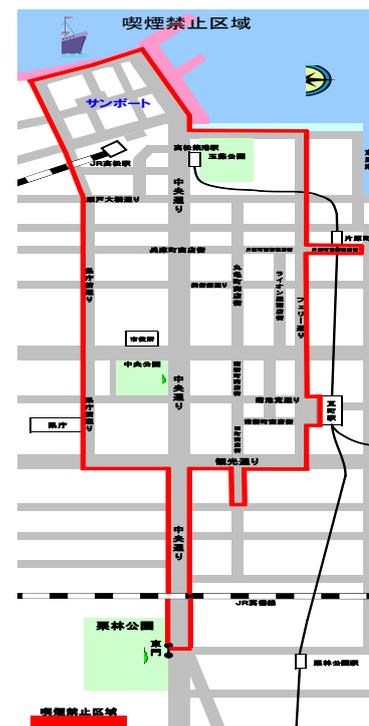
カ その他の啓発事業

環境月間(6月)において環境展を開催し, パネルなどの展示や啓発ポスター, 啓発物品の配布を行いました。

(3) 喫煙禁止区域

市では, 平成9年3月に高松市環境美化条例を制定し, 市内全域でごみのポイ捨て行為を禁止するとともに, 市民の協力を得ながら, まちの美観向上に努めています。

また, 18年3月に, 同条例を改正し, サンポート(サンポートおよび浜ノ町のそれぞれ一部)およびサンポートから栗林公園東



門までの中央通りと高松中央商店街（アーケードが整備されている8商店街）を「歩きたばこ禁止区域」に指定し、同年6月1日から、備付けの灰皿のある場所以外での喫煙を禁止しました。しかしながら、禁止区域内では一定の効果があつたものの、それ以外の区域においては、依然としてごみのポイ捨てが後を絶たない現状にあつたため、21年12月に同条例を一部改正し、全市域の公共の場所における喫煙の制限および印刷物等の回収の規定を設けるとともに、これまでの「歩きたばこ禁止区域」を「喫煙禁止区域」に名称変更し、その区域を拡大しました（施行は平成22年4月1日）。

(4) 空き地の適正管理

宅地造成地等の空き地に雑草が繁茂すると、ごみの不法投棄、害虫の発生、火災、花粉症等の原因となるおそれがあるため、高松市廃棄物の適正処理および再生利用の促進に関する条例 第6条（清潔の保持）中の、「土地または建物および周辺の清掃を行う等清潔を保つよう、また、みだりに廃棄物を投棄されないよう、その適正な管理に努めなければならない。」旨の規定に基づき、空き地の管理者等に対し、空き地の除草等、適正な管理について口頭または書面で協力依頼をしています。

空き地の適正管理処理件数

年 度	H19	H20	H21	H22	H23
件 数	111	231	243	211	233

4 ため池等景観整備事業

ため池や出水の恵まれた自然環境を有効に活用し、潤いと安らぎのある水辺空間を利用した小公園を整備し、適切な維持管理を行い、潤いのある市民生活の営みや情緒豊かな人間性の形成を図るとともに、自然の恵沢を享受できる憩いの場を市民に提供しようとするものです。

ため池等景観整備維持管理事業実績

区分	か所数	事業主体	事業費（千円）	補助率（%）	補助金（千円）
H23	17	各土地改良区	9,244	85	7,857



大池

第6節 文化的遺産の保存活用

1 文化財事業

(1) 埋蔵文化財調査

高松市が行う施設および道路建設など公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査や共同住宅建設など民間開発の際の埋蔵文化財の有無の確認調査を主に行っています。

また、学術的見地から実施している屋島の遺跡調査では、平成14年3月に、日本書紀に築造の記載がある古代山城「屋嶋城」の城門を発掘調査で発見し、現在も、その関連遺跡を継続調査中です。

(2) 文化財指定および登録

郷土と関係の深い文化財のうち、重要なものについては市指定・市登録を行い、さらに重要なものについては、県・国指定となるよう努めています。

23年度新規文化財指定・・・玉楮象谷関連資料(歴史資料：平成24年3月1日市指定)

国・県・市指定文化財および登録文化財件数表

種 別		指 定 区 分				登 録 区 分			
		国	県	市	計	国	県	市	計
有 形 文化財	建造物	6	4	7	17	84	0	0	84
	絵画	3	2	2	7	0	0	0	0
	彫刻	8	4	3	15	0	0	0	0
	工芸品	7	5	7	19	0	0	0	0
	書跡・典籍	8	0	7	15	0	0	0	0
	古文書	0	0	1	1	0	0	0	0
	考古資料	0	2	4	6	0	0	0	0
	歴史資料	0	0	2	2	0	0	1	1
	小 計	32	17	33	82	84	0	1	85
無形文化財		2	8	1	11	0	0	0	0
民 俗 文化財	有形民俗	5	4	4	13	0	0	0	0
	無形民俗	0	4	6	10	0	0	0	0
記 念 物	史跡※特別史跡含む	6	3	13	22	0	0	10	10
	名勝※特別名勝含む	1	1	0	2	0	0	0	0
	天然記念物	1	5	6	12	0	0	0	0
	小 計	8	9	19	36	0	0	10	10
合 計		47	42	63	152	84	0	11	95

※ 無形文化財数は、保持者または保持団体の数とした。

(平成24年3月31日現在)

国指定文化財一覧表

種 別	名 称 および 所 在 地	
重要文化財	建造物	国分寺本堂，高松城 北之丸月見櫓・北之丸渡櫓・北之丸水手御門・旧東之丸長櫓，屋島寺本堂，小比賀家住宅 主屋・午門・土蔵・米蔵・附土塀（御厩町），旧河野家住宅，旧下木家住宅（2件とも四国村）
	絵画	絹本着色十王像，絹本着色観世音功德図屏風，紙本金地著色源氏物語図（若菜、紅葉賀）屏風（3件とも法然寺）
	彫刻	木造千手観音立像（国分寺），木造不動明王立像（弘憲寺），木造四天王立像（鷲峰寺），木造毘沙門天立像（香西寺），木造千手観音坐像（屋島寺），木造千手観音立像（根香寺），木造菩薩立像（正花寺），板彫阿弥陀曼荼羅（開法寺）
	工芸品	太刀 銘 元重，太刀 銘 真守造（2件とも県立ミュージアム），銅鐘（国分寺），密教法具（弘憲寺），田村神社古神宝類（市歴史資料館），太刀 銘 兼氏（個人蔵），梵鐘（屋島寺）
	書跡・典籍	藤原佐理筆詩懷紙※国宝，紙本墨書月江正印墨蹟印可状，紙本墨書清拙正澄墨蹟平心字号，紙本墨書花園天皇宸翰御消息，光厳院宸翰御奉納心経，法華経（6件とも県立ミュージアム），後深草天皇宸翰御消息（法然寺），万葉集卷第十五残卷 天治本（冠纒神社）
重要無形文化財(工芸技術)	蒟醬（保持者：太田 壽，磯井 正美）	
重要有形民俗文化財	瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具，瀬戸内海の船図及び船大工用具（2件とも瀬戸内海歴史民俗資料館），讃岐及び周辺地域の砂糖製造用具と砂糖しめ小屋・釜屋，讃岐及び周辺地域の醬油醸造用具と醬油蔵・麴室（2件とも四国村），牟礼・庵治の石工用具（石の民俗資料館）	
記念物	史跡	讃岐国分寺跡※特別史跡，府中山内瓦窯跡（国分寺町），讃岐国分尼寺跡，石清尾山古墳群，屋島，高松城跡
	名勝	栗林公園※特別名勝
	天然記念物	屋島

（平成24年3月31日現在）

県指定文化財一覧表

種 別	名 称 および 所 在 地	
有形文化財	建造物	旧入江家住宅（牟礼町），旧山下家住宅，旧黒瀬家丸亀藩御用蔵，旧丸亀藩番所附境界標柱（3件とも四国村）
	絵画	紙本着色高松城下図八曲屏風，高松松平家博物図譜（2件とも県立ミュージアム）
	彫刻	木造地藏菩薩立像（弘憲寺），木造五大尊像（根香寺），金銅誕生釈迦仏立像（県立ミュージアム），木造阿弥陀如来坐像，木造釈迦如来坐像，木造弥勒菩薩坐像（3体で1件，全て法然寺）
	工芸品	銅鐘（法泉寺），青貝微塵塗鞘および大小拵（県立ミュージアム），刀 無銘 伝江義弘（市歴史資料館）刀 銘 龍藻軒多田鷹成ほか刀一口（2件とも個人蔵）
	考古資料	平形銅剣 高瀬町北条出土（県立ミュージアム），弥生土偶（県教育委員会）
無形文化財(工芸技術)	蒟醬（保持者：伊賀 寛泰，太田勝子，山下義人，大谷 早人），彫漆（保持者：北岡省三，中島光夫），髹漆(きゅうしつ)（保持者：西岡春行，竹内幸司）	
有形民俗文化財	香翠座人形頭（香翠座デコ芝居保存会），ひょうげ祭りの神具（高松市香川町文化財保存会），冠纒神社の大獅子（香南町），高松藩飛竜丸船明細切絵図（県立ミュージアム）	
無形民俗文化財	祇園座（香川町），庵治締太鼓（庵治締太鼓保存会），香翠座デコ芝居（香翠座デコ芝居保存会），庵治の船祭り（庵治皇子神社船渡御保存会）	
記念物	史跡	生駒親正夫妻墓所（弘憲寺），今岡古墳（鬼無町），高松市茶臼山古墳（前田西町ほか）
	名勝	小比賀家築山庭園（御厩町）
	天然記念物	船山神社のクス（船山神社），ソテツの岡，根上りカシ（2件とも栗林公園），一瀬神社社叢（中山町），岩部八幡神社のイチョウ（塩江町）

（平成24年3月31日現在）

市指定文化財一覧表

種 別	名 称 および 所 在 地	
有 形 文 化 財	建造物	国分寺北部小学校校門（国分寺町），旧中石家住宅 主屋・隠居屋・納屋，小豆島の農村歌舞伎舞台，茶堂，旧吉野家住宅（4件とも四国村），披雲閣（玉藻公園），旧新塩屋町小学校門柱
	絵画	生駒親正肖像画（弘憲寺），紙本墨画淡彩玉蘭精舎祝宴図屏風（市歴史資料館）
	彫刻	木造六字尊立像（円成庵），金銅誕生釈迦仏立像（西方寺），木造阿弥陀如来立像（観興寺）
	工芸品	摩尼輪塔（国分寺町），刀剣 銘 讃州住盈永（県立ミュージアム），仏餉茶碗（県立ミュージアム），鱈口（個人蔵），藤尾八幡神社奉納鏡，本小札肩白紺糸緘具足・二方白四十八間筋兜（2件とも市歴史資料館），剣 銘 則國（個人蔵）
	書跡・典籍	徳川家綱安堵判物案，永井尚庸・小笠原長頼連署奉書，松平頼重筆 和歌幅，松平頼重 短冊屏風（4件とも県立ミュージアム），生駒家時代讃岐高松城屋敷割図 付同引伸図，讃岐国一宮田村大社壁書（2件とも市歴史資料館），大般若波羅蜜多經（庵治町願成寺）
	古文書	由佐家文書（市香南歴史民俗郷土館）
	考古資料	楠尾神社経塚出土遺物（国分寺町楠尾神社），石船石棺（国分寺町），御城俊禅蒐集古瓦（牟礼町洲崎寺），大空遺跡出土弥生土器 53 点（市歴史資料館）
	歴史資料	山内村史（市歴史資料館），玉楮象谷関連資料（市美術館）
無形文化財	水任流泳法（水任流保存会）	
有形民俗文化財	清水神社の甕塚と上御盥跡（由良町），祇園座衣装（香川町），住吉神社お船「住吉丸」（「弁才船」の模型），才田獅子頭（2件とも庵治町）	
無形民俗文化財	庵治おどり，才田岩陰獅子舞（2件とも庵治町），石切り唄，田井の子供神相撲（2件とも牟礼町），ひょうげ祭り（香川町），椋川たたら踊り（塩江町），	
記 念 物	史跡	石ヶ鼻古墳（国分寺町），久本古墳，大井戸，前田城跡，下司廃寺塔跡，藤尾城跡，十河城跡，勝賀城跡，古宮古墳，片山池1号窯跡，神内家墓地石塔群（10件とも旧高松市），東赤坂古墳（香川町），横岡山古墳（香川町）
	天然記念物	大石さんのムクノキ（西山崎町），男木島の柱状節理および岩海（男木町），女木島の柱状節理（女木町），平石井神社のクロガネモチ（今里町），如意輪寺のヤブツバキ（国分寺町），西方寺配水池のソメイヨシノ（西宝町）

（平成 24 年 3 月 31 日現在）

※ 長い名称は一部省略した。また，文化財の所在地は，個人情報保護の観点等から最小限の標記にとどめた。

(3) 保存・管理

指定文化財および登録文化財の保存に努めるとともに，管理や修理に対する助成を行っています。

また，埋蔵文化財の発掘調査で出土した遺物の整理，保存に努めています。

また，史跡・天然記念物屋島の景観等保護のため，屋島地区での家屋建築などの際必要な「現状変更許可」の関連事務を行っています。

また，特別史跡讃岐国分寺跡に整備している「国分寺史跡公園」および史跡讃岐国分尼寺跡の管理と公有地化の促進に努めています。

(4) 公開・活用

郷土の歴史と文化財の紹介および活用を図るための諸行事を実施しています。

ア ふるさと探訪

市民の方々に，各種文化財に触れ郷土の歴史・文化を学習していただくため，市内および近郊の史跡等を訪ね，現地で講師が解説する講座を年間10回開催しています。

イ 親子文化財教室

市内の小・中学生とその保護者を対象に，親子で郷土の歴史・文化を学習し，文化財に身近に接していただくため，子どもも興味をもちやすい体験型の講座を年間2回開催しています。

ウ 指定文化財の説明板等の設置および修理

指定文化財をわかりやすく解説した説明板等の設置および修理を随時行っています。

エ 遺跡現地説明会・講演会（シンポジウム）

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く市民の方々に知っていただくため、発掘現場における説明会、調査成果について専門家を交えて検討する講演会（シンポジウム）を随時開催しています。

オ 埋蔵文化財展

埋蔵文化財に対する理解を深めていただくため、市庁舎1階市民ホールや地区コミュニティセンターなどで随時開催しています。

カ 文化財出前説明会

文化財に対する理解を深めていただくため、市民の方々の要請により、地区コミュニティセンターなどで随時開催しています。

キ 円座整理事務所公開など

発掘した埋蔵文化財の修復作業や保管をしている円座整理事務所の見学（数人以上の団体で事前申込制）ができます。また、中学生の職場体験学習の受入れもしています。

(5) 資料の作成・配布

ア 市内文化財紹介冊子「高松市の文化財」

イ 発掘した遺跡の紹介パンフレット「むかしの高松」

ウ 高松市内指定文化財マップ

エ 講座テキストなど各種資料

(6) 名木保護事業の推進

長い間風雪に耐え、市民に自然の恵みと安らぎを与えてきた郷土の古木、巨木などを本市の名木に指定し、これを永く保存します。

名木指定数 50本（平成24年4月1日現在）

高松市の名木一覧表							
	指定年度	樹木名	所在地		指定年度	樹木名	所在地
1	S52	クスノキ	花ノ宮町	26	H5	クスノキ	神在川窪町
2	〃	ハク	香西北町	27	H6	ムクノキ	東植田町
3	〃	クスノキ	一宮町	28	H7	エノキ	菅沢町
4	〃	クスノキ	仏生山町	29	〃	ウバメガシ	松縄町
5	〃	イチョウ	仏生山町	30	〃	タラヨウ	成合町
6	〃	イヌマキ	由良町	31	H8	ボダイジュ	東植田町
7	〃	クスノキ	太田上町	32	〃	クロマツ	太田上町
8	〃	イスノキ	飯田町	33	〃	ハリギリ	菅沢町
9	〃	ウバメガシ	男木町	34	〃	クロガネモチ	伏石町
10	〃	ヤマモモ	前田西町	35	H10	トチノキ	西植田町
11	〃	クスノキ	出作町	36	〃	ケヤキ	伏石町
12	S53	ハク	扇町	37	H13	イチイモドキ	鬼無町
13	〃	クスノキ	宮脇町	38	H15	エノキ	川部町
14	〃	クスノキ	松島町	39	〃	クスノキ	西植田町
15	〃	アカガシ	菅沢町	40	H16	アキニレ	一宮町
16	H元	カゴノキ	鬼無町	41	〃	ニッケイ	西植田町
17	〃	アラカシ	岡本町	42	H17	イスノキ	一宮町
18	〃	クスノキ	木太町	43	S61	イチョウ	庵治町
19	H3	クロガネモチ	十川東町	44	〃	クスノキ	庵治町
20	〃	アキニレ	鬼無町	45	〃	クヌギ	庵治町
21	〃	アラカシ	西植田町	46	〃	アンズ	庵治町
22	H4	クロガネモチ	木太町	47	〃	ソテツ	庵治町
23	〃	ウバメガシ	太田上町	48	H18	ソテツ	番町
24	H5	イチョウ	東植田町	49	〃	ナギ	仏生山町
25	〃	ツバキ	菅沢町	50	H20	クロガネモチ	香西本町